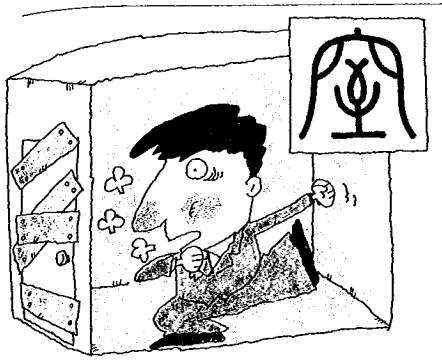
室

11画

一 宀 宀 宀 宀 宀 室

おん チツ

なりたち 宀（あなかんむり）と至との会意形声字。〝穴に至る〟の意味で、周囲が〝ふさがる〟という意味の字。〝ふさがる・ふさがり止まる〟こと。



いみとじゅくご

▼ふさがる。ふさがり止まる。

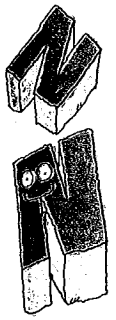
室息…呼吸(息)がふさがり止まること。気管がふさがるか、酸素が欠乏するかなどで呼吸作用ができなくなること。

室死…室息して死ぬこと。室息死。

▼元素の名。

室素…気体元素の一つ。大気(地球を取り巻く空気の全体)の五分の四を占める無色、無味、無臭の気体。地球上の空間に満ちふさがっている元素なのでこの名がある。

室素肥料…室素を多く含む肥料の総称。硫安・尿素・堆肥(ひ)・石灰窒素など。



室 窯

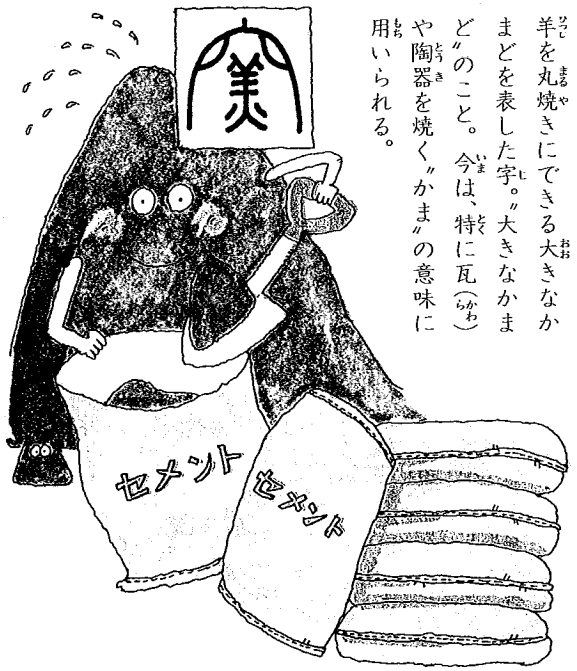
窯

15画

一 宀 宀 宀 宀 宀 窯 窯

おん ヨウ　かま

なりたち 竈(かま)の意味の宀(あなかんむり)と、羊と、火を表した灬との会意形声字。羊を丸焼きにできる大きなかまどを表した字。〝大きなかまど〟のこと。今は、特に瓦(かわ)や陶器を焼く〝かま〟の意味に用いられる。



いみとじゅくご

▼瓦(かわ)や陶器を焼く窯。

窯業…窯で土や砂を使って作った物を焼いて完成させる工業。陶器・磁器・ガラス・セメント・煉瓦(れん)・瓦(かわ)などの製造工業。

窯元…陶磁器を焼いて作るところ。また、そこの主人。

▼窯で焼いて作った物。

戸

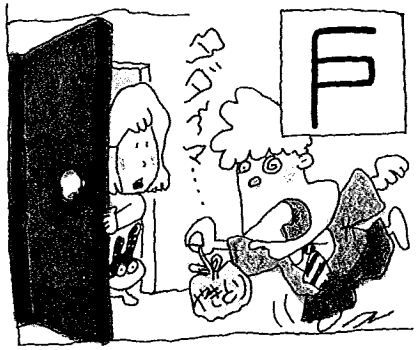
【2年】

4画

一 ラ ヨ 戸

おん コ　と

なりたち 門の左半分の形で〝片開きの戸〟を表した字。〝家の戸〟。転じて、〝家〟の意味。両開きの戸を表した字が〝扉(とびら)〟という字である。



いみとじゅくご

▼とびら。

門戸…❶門と戸。用例門戸を開放する。(部外者との交流を積極的にする、という意味。)❷一派。一家。

▼家。

戸籍…国民各個人の本籍地や生年月日、家族関係などを記載した公の台帳。例戸籍謄本

戸数…❶人家の数。❷世帯数。

戸別…家ごと。一軒ごと。例戸別訪問

戸主…旧民法で定められた家長。世帯主の旧称。

▼酒を飲む程度。

上戸…酒をたくさん飲む人。酒飲み。例笑い上戸(酒を飲むとよく笑う人。また、ふだんからよく笑う人をも言う。)反下戸

よみかた 雨戸・瀬戸・納戸

戸 肩

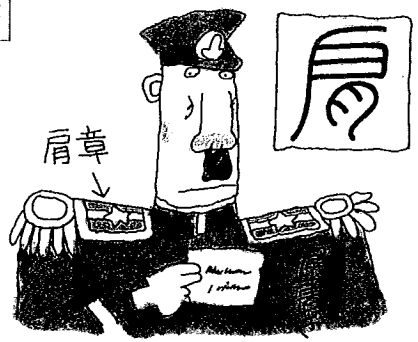
肩

8画

一 ラ ヨ 戸 戸 肩 肩

おん ケン　かた

なりたち 肩から腕にかけての形を表した戸と、肉体の意味の月(にくづき)との会意字。〝かた〟を表した字。頭を除いた肩から下の部分を〝身(み)(今の音はシン)〟と言う。



いみとじゅくご

▼肩。

肩書き…❶名刺などで氏名の右上(肩の部分)に書く、職業や身分。❷縦書きの文章の右上に注釈としてつけた言葉。

肩入れ…ひいきにして力を貸すこと。

肩代わり…負担などを代わって負ってやること。(もと、かごかきを代わってする人の意味。)用例借金を肩代わりする。

肩身…他人に対する面目。用例肩身が狭い。(引け目を感じる様子。)

肩章…肩につけて階級などを表す印。

双肩…両方の肩。用例双肩になる。(責任を負う。)

比肩…肩を並べること。匹敵すること。